



障がいのある人の雇用に取り組む

# 大京食品株式会社 (京都市南区)

「京都はあとふる企業」です

【主な事業内容】

油揚げ等食品(惣菜)の製造及び販売

【障がいのある人の主な仕事】

製造工程での袋詰めや箱詰めなど

## 【障がい者雇用の経緯】

6年位前に、特別支援学校との繋がりが出来、障がいのある人の実習受入れ・採用を開始しました。初めての实習において、真面目な仕事ぶりを見て、十分に人材として成り得ると確信しました。その後、実習・採用を繰り返し、今では8名の障がいのある社員が働いており、従業員の1割を越えています。主な仕事は、製造工程において、惣菜の袋詰めや箱詰め、シール貼りのセッティング作業、調味料の充填作業などを行っています。

## 【Sさんに聞きました】

4年目になります。実習時の作業は、周りの人のサポートと質問し確認することで直ぐに覚えました。

しかし、働いてみると、失敗して教えてもらうの繰り返しでした。また、年末年始が忙しく大変でしたが、今では慣れてきました。

周りの皆さんも明るく元気で、仕事が面白いです。

休みは、家族でゲームをしたり、買い物に行きます。

## 【時間をかけた反復作業で成長】

1週間の実習では、上司・先輩がポイント毎のマニュアルも使いながら作業をやって見せて教えます。同じ作業を繰り返す事で一つの作業を覚えてもらいます。

就労後、実習時とは違う作業にチャレンジしてもらいます。この繰り返しで、出来る作業を増やしていきます。

仕事では周りの人とのコミュニケーションが重要です。緊張が強くて言葉が出ない人、怒られるとごまかす人、手を抜きがちなど様々ですが、ゆっくりと話し、良いところを褒めたり、繰り返し注意したりして、良い点を伸ばし、弱点を克服して成長してもらうように努めています。苦勞することもあります。十分戦力になっていると考えています。

